

Market Outlook

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>

マーケット展望

漂流する日本株

日本市場の戻りが鈍い。強いのは海外市場だけである。日本株の焦点が定まらないのだろう。悲しいことに、我々は日本人でいながら、日本株の将来に悲観的にならざるを得ない。「人口減少」、「円高」、「民主党の不慣れな政権運営」、そして「企業によるマーケットでの過度な資金調達」。買い手不在の日本市場は、出来高に象徴されるように需給があまりにも悪い。ここしばらく上昇しているのは、海外市場の上昇による、連れ高と見たほうが良いと思われる。アイデンティティーを無くした日本株は、しばらくは漂流してしまうかもしれない。

そして、来年は、円高対策に斬新な手を打たなければ、日本企業の海外流出に拍車がかかるであろう。いわゆる企業の海外移転だ。これにより、失業率の増加を招く恐れもある。

結論を言おう。日経平均が11,500円をつけた場合、手持ちの保有株は、いったん手仕舞いすることをおすすめしたい。買うチャンスはいくらでもある。当面は様子見だろう。

為替について

前回のレポート(MO091026 作成09/10/26)で、私は90円は瞬間的に割ることはあっても、88円以下の水準はないであろう、と予想した。結果的には、私の予想は外れた。自分なりに検証すると、言い逃れではなく、以下のことが考えられる。そもそも国際通貨の中で、円はボリュームが無く、ドバイ危機のニュースによって、一時的に円が買われ、通貨量の薄い円が、必要以上に跳ね上がり、海外市場で84円台をつけてしまった。つまり、円はまだ人的パワーの影響を受けやすい通貨ということである。冷静に考えても、日本の国力、経済状況など様々な角度から検証して、現在の為替水準は買われ過ぎであるという印象は否めない。

当面の予想としては、チャート上からも、90円で揉み合った後、92円を目指し、再び揉んで、94円の水準までジリ安の円安トレンドと見ている。したがって、前回のように84円台が示現することは、考えていない。

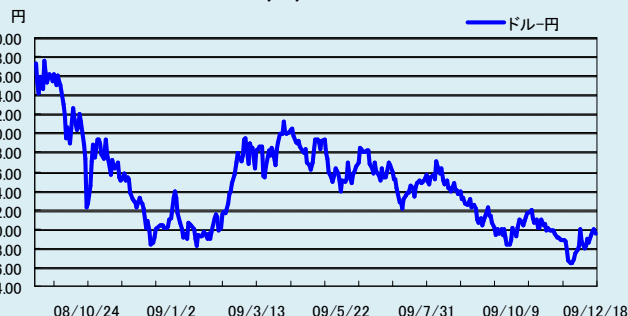
■ 日経平均株価(08/9/12～、週足)



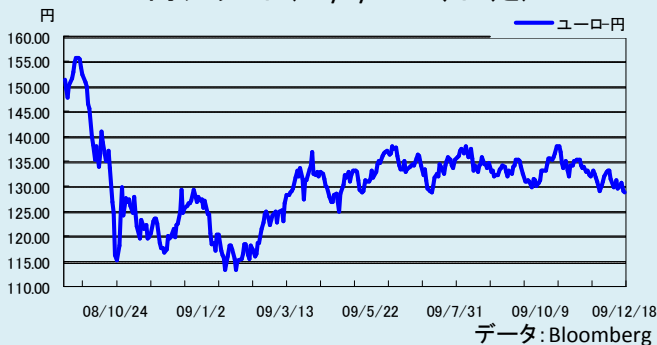
■ NYダウ平均(08/9/12～、週足)



■ ドル-円チャート(08/9/12～、日足)



■ ユーロ-円チャート(08/9/12～、日足)



New-S Securities

Market Outlook

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

主な事業 金融商品取引業

●本資料は、作成者の個人的見解を反映したものであり、特定の商品の取引等を勧誘または推奨するものではありません。●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。●金融商品は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。●金融商品へのご投資には、基本取扱手数料等が必要です。●金融商品の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。